

Bernard Buffet et la photographie - Buffet et son époque sous l'oeil de l'objectif : vers le XXI^e siècle

2026 4/3 Fri → 9/1 Tue

ベルナルル・ビュフェ
ロベール・ドアノー
リュック・フルノル
フィオナ・タン
川内倫子
澤田知子
鈴木理策
杉本博司
野口里佳
松江泰治
宮本隆司
米田知子
他

カメラがとらえたビュフェとその時代、そして21世紀へ
ベルナルル・ビュフェと写真



リュック・フルノル《カマルグの闘牛場》1958年、ベルナルル・ビュフェ美術館 ©Luc Fournol

2026
4
/ 3 金
↓
9
/ 1 火

Musée Bernard Buffet

ベルナルル・ビュフェ美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野 515-57
Tel. 055-986-1300 Fax. 055-987-5511 www.buffet-museum.jp/

開館時間 | 10:00 - 17:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 | 水曜日・木曜日（祝・休日の場合は開館し、翌金曜日を休館）※開館情報は公式サイトでご確認ください

入館料 | 大人 1,500円（1,400円） / 高・大生 750円（650円） / 中学生以下無料 / 障害者手帳ご持参の方は半額、付き添い1名無料

※（）内は20名以上の団体割引

主催 | ベルナルル・ビュフェ美術館

後援 | 静岡県教育委員会、沼津市教育委員会、三島市・三島市教育委員会、裾野市・裾野市教育委員会、長泉町・長泉町教育委員会、清水町・清水町教育委員会、静岡新聞社・静岡放送



ベルナル・ビュフェ 《自画像》1955年、静岡新聞社



リュック・フルノル 《サン＝トロペ、1958》1958年
ベルナル・ビュフェ美術館 ©Luc Fournol



リュック・フルノル
《ニューヨーク展のビュフェ夫妻、1959》1959年
ベルナル・ビュフェ美術館 ©Luc Fournol



Bernard Buffet chez Constant, rue de Seine en 1948
© Donation Denise Colomb,
Ministère de la Culture (France),
Médiathèque du patrimoine et de la photographie,
diffusion RMN-GP



杉本博司 《フォトジェニック・ドローイング 008 レース、1839年頃》
2008年、ベルナル・ビュフェ美術館
© Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi



米田知子
《フロイトの眼鏡-ユングのテキストを見るII》1998年
ベルナル・ビュフェ美術館 © Tomoko Yoneda, Courtesy of ShugoArts



フィオナ・タン 《人々の声 東京》2007年
写真インスタレーション、ベルナル・ビュフェ美術館
© Fiona Tan, Courtesy Wako Works of Art

ベルナル・ビュフェと写真一

カメラがとらえたビュフェとその時代、そして21世紀へ

19世紀中頃に技術が確立されると、写真は瞬間に世界中に広がっていきましました。ベルナル・ビュフェが活躍した時代は、写真が発明されてから100年以上経過していましたが、技術の向上と普及の速度には目覚ましいものがありました。ビュフェ自身が写真を撮ることはなかったものの、戦後のパリで早熟の天才として称賛された彼を、リュック・フルノルやロベール・ドアーノなど、同時代の写真家たちは被写体として見逃しませんでした。ビュフェをとらえた写真は、同時代の雑誌『パリ・マッチ』などに掲載され、ビュフェ・イメージの形成をうながします。つまり彼らの作品は、戦後の写真表現を示すとともに、ビュフェのポートレートでもあったのです。それらの写真をビュフェが描いた自身の肖像画と比較してみると、わたしたちは彼の芸術をより深く鑑賞できるはずで

加えて、ベルナル・ビュフェ美術館は、ビュフェと同時代の写真家たちの作品だけでなく、現代のアーティストたちによる写真作品も多数コレクションしています。杉本博司のフォトジェニック・ドローイングや、米田知子の「見えるものと見えないもののあいだ」シリーズ、フィオナ・タンの《人々の声》などは、フルノルやドアーノとは主題、技法、色彩などの点で大きく異なっており、今日に至る写真表現の大きな変化を示しています。

本展は、ベルナル・ビュフェと写真との関係に注目し、戦後から現代にいたる写真の変化の流れを追う展覧会です。

* 展示内容：油彩約20点、版画約10点、写真作品約85点（出品作品は変更になる場合がございます）

■ ギャラリートーク ※予約不要、入場券が必要です。

学芸員が展示について解説します。

4月19日(日)、5月17日(日)、6月21日(日)、7月19日(日)、8月16日(日)

■ ワークショップ

毎月1回、第2日曜日の13:30よりワークショップを開催いたします。

内容は開催約1か月前に当館ウェブサイトにて発表いたします。

お電話にてご予約ください。Tel. 055-986-1300

■ 同時開催 杉山明博追悼展「木とわたし—木工の妙技と美術教育」

ベルナル・ビュフェ美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野 515-57

Tel. 055-986-1300 Fax. 055-987-5511 www.buffet-museum.jp/

■ アクセス

【自動車の場合】

新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. → 伊豆縦貫道（東駿河湾環状道路）→ 長泉 I.C. 出口 / R246 を右折 / 「城山」交差点左折 / 静岡がんセンター方面へ（新東名長泉沼津 I.C. より約 5km）

【電車の場合】

JR 東海道線 [三島駅] 下車 南口より富士急シティバス駿河平方面行（運行本数に限りがあります。詳細は公式サイトをご覧ください）

